



里海ガイド養成講座（基礎） 開催しました！



- 日 時：2019年11月30日（土）9:30～17:00（1日目）
12月1日（日）9:00～16:30（2日目）
12月14日（土）9:30～17:00（3日目）
12月15日（日）9:00～16:30（4日目）
- 会 場：交流の里おうごし（坂出市王越町）
- 講 師：小前 昭二氏（Free Cloud 代表）松野 陽平氏（絆創工房代表）

実施内容

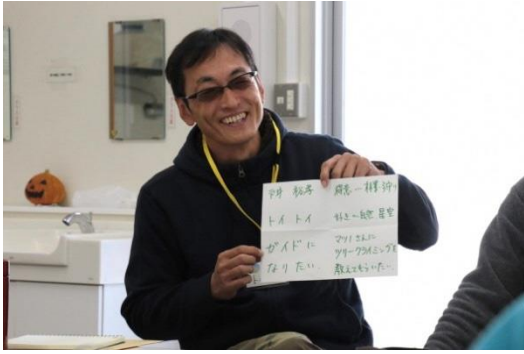
ガイドに必要な基礎知識を、フィールドにおける体験と対話を通して学ぶ「里海ガイド養成講座（基礎）」を開催しました。受講生は実際にガイド経験のある人や主婦など、様々な立場の方が参加しました。前回開催された里海ガイド養成講座（入門）で学んだ内容も活かし、アクティビティ作成とその実践を中心に講座が進められました。

1日目：11月30日（土）、2日目：12月1日（日）

1日目はまず最初に、ツアー構成の一部となるアイスブレイクの方法やアクティビティを講師がガイド役となって、体験を通して学びました。

ツアーなどの参加者で初めて会う人同士だと硬い雰囲気があります。そこで、この雰囲気を柔らかくするための方法としてアイスブレイクが紹介されました。また、アクティビティの体験では落ち葉を使った「葉っぱじゃんけん」と「葉っぱアート」の2つが紹介されました。

「葉っぱアート」では、受講生が集めた葉っぱや木の枝、木の実などを、ボードの上に思い思いに並べて作品づくりを楽しみました。



自己紹介の様子



アイスブレイクの様子



アクティビティ体験の様子



葉っぱアート作品

1日目の午後から2日目の午前中にかけて、受講生が3グループに分かれて、里海ガイド養成講座（入門）で考案されたアクティビティを実際にガイドとして実践する準備を進めました。受講生はアクティビティの目的やねらいを決めて、アクティビティに適した場所を探したり、その場所で可能な体験内容を試行錯誤しつつ真剣に考えていました。そして2日目の午後に、作成したアクティビティを他のグループの受講生や講師を参加者に見立てて実施し、実施の後には、参加者から「良かった点や改善点」について意見を聞きフィードバックを行いました。フィードバックでは講師の他に、里海プロガイド養成講座（応用）の修了生でもあり、実際に里海ガイドとして活躍されている先輩ガイドからもアドバイスがありました。



アクティビティづくりの様子



アクティビティづくり（フィールド調査）の様子



アクティビティ実施の心構えなど説明を受ける様子



アクティビティの実施

3日目：12月14日（土）、4日目：12月15日（日）

3日目は、さらなる実践をとおしてツアーづくりにも活かせるように、新たなアクティビティづくりの実習を行いました。

出来上がったアクティビティは「落ち葉の窓（ステンドグラス）を作ろう」と「石と木から読み解くトンボランドの歴史」のほか、座禅とお茶でリラックスしながらとんぼランドを楽しむ内容の「一期一会の座禅茶会」の3つです。アクティビティ実施を重ねるにつれて、アクティビティのつくり方や参加者への声かけなどのガイディング技術も皆さん向上しているようでした。

最後には、内容の完成度をさらに高めるため、アクティビティ内容のブラッシュアップを行い、受講生、講師、先輩ガイドも交えて改善点やガイドの役割などについて意見交換を行いました。



アクティビティづくりの様子



アクティビティ作成のポイント説明を受ける様子

講座が終了し、里海ガイド養成講座（基礎）の修了生が9人誕生しました。

これまでの修了生には、女性ガイドの方が少なかったですが、新たに女性ガイドが6人増えました。女性の視点で里海の魅力を発信するなど新たな里海ガイドの展開も期待できそうです。

里海ガイドの皆さんには、今後、自分たちが実施しているガイドツアーに里海の要素を加えてみたり、新たに里海の楽しさを伝えたりする活動での活躍も期待されています。



アクティビティ実施



講座終了後に集合写真